



# 編集長が行く **第2弾** 宮川橋～栄橋まで 大岡川SUP探訪

## 何が見える?何が見つかる? 新しい水辺の魅力、SUPから

### 見慣れたはずの 7本の橋を見上げ

4月には花筏を進み、5月には鯉のぼりが頭上を泳いだ大岡川SUPクルージング。6月は兩岸の並木が川に向かって枝葉を垂れ、橋の脇の水管橋などにも蔭がからみ、緑濃く鬱蒼とした感じが漂う中をゆく。

日々移り変わる流域の景色の中、記者のSUP技術は



かつての新富士見川との合流地点にかかる白金人道橋。手を折り返す。撮影:豊田直之

相変わらずだが、第2弾も元気に探訪した。

いつもの桜棧橋を出発し、下流の宮川橋で折り返して上流の栄橋まで。そして一つ先の白金人道橋手前で折り返し戻ってくる2km足らずのコース。ゆっくりと、ひとつひとつの橋をSUPの上から見上げてみた。

この間にある、宮川橋、長者橋、旭橋、黄金橋、末吉橋、太田橋、栄橋の7つは全て、

1923(大正12)年の関東大震災時に焼失、もしくは全壊した橋。中村川の分岐点より下流の大岡川に架けられた震災復興橋13橋のうちの7橋が続く流域だ。近年、老朽化のため架け替えが行なわれた末吉橋と栄橋以外は、ほぼ当時のままの姿で残っている。

震災復興橋の親柱の一つとして同じ物が無いことが知られているが、当然、橋の裏側もそれぞれ異なり、震災の深い痛手から再起を目指すとした想いが、個性的なデザインや重厚な構造から伝わってくる。また、橋の裏には『工事請負〇〇組』と請負業者の銘があったりして、そこに「我も復興に一役買おう」という意気込みが感じられる。

6月中旬のおだやかな大岡川をゆく。頭上の末吉橋は、この区間では最も新しい橋(平成19年架け替え)。復興橋梁だった旧橋の面影が、橋桁のシルエットなどに残されている。奥に見える橋が太田橋。撮影:豊田直之



気軽に水上散歩ができることも人気のSUP。だが、奥は深い。撮影:豊田直之



### 吉田新田橋File #2 『長者橋(ちょうじゃばし)』



石橋を思わせるような「アール・デコ調」の野田気を持ち、橋全体の形が川の上で美しい半円を描いている。撮影:豊田直之

横浜市内に現存する45の関東大震災後の復興橋梁の1つです。「鉄筋コンクリート拱橋(きょう

きょう…アーチ橋のこと)」という種類で、復興橋梁の中でも美しさと頑丈さにおいて際立っています。

橋幅は歩道も含め21.8mもあり、大岡川にかかる橋の中では、辨天橋、大江橋、太田橋に次ぐ4番目です。

「長者橋」の最初の橋の完成は1874(明治4)年で、周辺が「長者町」という町名になったことが名前の由来です。



それまでは、名もなき橋だったようですが、横浜開港に伴い通行量が増え、頑丈な橋に架け替えられ、町の名前がつけられました。



上:橋の上の長者町通りの様子。下:復興橋梁の銘板。撮影:豊田直之

昭和27年創業  
**共栄商事不動産**  
http://www.kamioooka.jp

【本店】横浜市港南区上大岡西1-19-4  
Tel 045-842-0054/Fax 045-846-3701

【駅前支店】横浜市港南区上大岡西1-15-1 camio1F  
Tel 045-842-0052/Fax 045-846-3702

【大久保支店】横浜市港南区大久保1-11-6  
Tel 045-842-0058/Fax 045-842-2206

**秋山眼科医院**  
akiyama eye clinic  
http://www.hekaton-cheir.jp/akiyama-eyeclinic/

横浜市中央区尾上町3-28 横浜国際ビル4階(受付) TEL:045-641-9361

眼科 [月~金] 10:00~13:00 15:00~18:00 [土曜] 10:00~13:00  
耳鼻咽喉科 [火・水] 10:00~13:00 15:00~18:00 [月・木・金] 10:00~13:00

まごころ・信頼・サービスをお届けします。

**株式会社 横濱屋**

- 業務用酒類卸
- スーパーマーケット
- お酒スーパー

●本社 横浜市南区宮元町4-93 TEL 045-712-2670  
●業務用酒類卸(東神奈川営業所)  
横浜市神奈川区千若町2-1 TEL 045-440-6440